

歴史あるシャギリと祭典

久斯神社例大祭

9月8日、樋ノ口地区の久斯神社で昔ながらの形式を残すとして市の指定文化財にも指定されている例大祭が行われました。この日は9月にも関わらず30度を超す暑さ。午前中の御神輿渡行列に続き、午後からは太鼓、笛、鐘、三味線で構成されるシャギリが中野地区から三日市地区まで西小出地区の家々を回り家内安全などを祈願しました。



▲暑さに負けず元気に太鼓を叩く小学生

公開講演会＋自由に意見交換

メディカル・サイエンスカフェ・ネクストinにかほ市

9月13日、スマイルを会場にメディカル・サイエンスカフェ・ネクストinにかほ市が開催され、約30人の市民が参加しました。これは、昨年秋田大学と締結した連携協定により行われたもので、当大学教員による医学や健康についての講演のほか、お茶とお菓子を楽しみながら自由に意見交換も行われ、参加者は元気に過ごすための知識を深めました。



▲カフェのようなくつろいだ雰囲気なかでの意見交換

季節外れの暑さのなかでも

にかほグルメまつり

9月7日、8日の両日、にかほっと前特設会場にかほグルメまつりが開催されました。秋田市で行われた「第39回全国豊かな海づくり大会あきた大会」を盛り上げようと、本市でも海にちなんださまざまなイベントと海鮮グルメをふんだんに準備。フェーン現象で季節外れの暑さとなったなかでも、海の幸を満喫する来場者の姿が見られました。



▲にかほっと内では、秋田会場の様子が生中継されました。

100歳長寿おめでとうございます

長寿祝状・祝金贈呈式

9月10日、齋藤フサミさん（平沢・大正8年生まれ）が100歳の誕生日を迎え、市より祝状と祝金が贈呈されました。現在は由利本荘市の施設に入所しているフサミさん、この日は息子さんとお孫さんが駆け付け、「100歳おめでとうございます」と声をかけると、にっこりと優しい笑顔をされました。これからも末永くお元気でお過ごしください。



▲施設の皆さんからのプレゼントを手にする齋藤フサミさん（写真：中央）

激甚化する自然災害に対応するため

令和元年度にかほ市総合防災訓練

8月31日、市内各地で令和元年度にかほ市総合防災訓練が行われました。早朝の避難訓練から始まった当訓練。川袋地区では大雨を想定した水防訓練や避難訓練、仁賀保高校では大地震を想定した避難訓練のほか多数傷病者救助訓練が行われ、有事の際の手順を確認し、防災力の向上と防災意識の高揚を図りました。



▲傷病者を手当とする（訓練）DMATの医師

郷土に伝わる伝統文化を披露

第10回鳥海山伝承芸能祭

9月1日、小滝地区・金峰神社境内のにかほ市郷土文化保存伝習館で鳥海山伝承芸能祭が行われました。10回目を迎える今年は「式三番の世界」をテーマとして、番楽の中でも特に格式の高い「式舞」を中心に披露されました。また、市外からも由利本荘市鳥海町の本海獅子舞番楽猿倉講中が特別出演し、多くの来場者を魅了しました。



▲仲睦まじい雌雄の鳥を表現（伊勢居地番楽「鳥舞」）

世界恒久平和を願い

にかほ市平和祈念戦没者追悼式

8月28日、仁賀保勤労青少年ホームでにかほ市平和祈念戦没者追悼式が挙行されました。約100人の参列者は御霊に黙とうを捧げ、市川市長の式辞につづき、ご遺族やご来賓の方々から「追悼のことば」、市内中学生の代表から「平和への誓い」をいただきました。その後、参列者全員による献花が行われ、御霊の安らかなるご冥福をお祈りしました。



▲平和への誓いを述べる石山千夏さん（金浦中学校）

アウトドア活動を通じて

株式会社モンベルとの包括連携協定締結式

8月31日、象潟公民館で株式会社モンベルとの包括連携協定締結式が行われました。アウトドア用品の総合グループとして世界的シェアを持ち、会員数93万人を誇るモンベル、今年で9回目を迎えたSEA TO SUMMITへの参加が縁で、このたびの包括連携協定が実現。今後、アウトドア活動等を通じての地域活性化や市民生活の向上が期待されます。



▲辰野勇代表取締役会長（写真：右）と握手を交わす市川市長